

徒歩・車いすの視点(自転車レーン整備による質的な効果)

利用する路線	安全性・快適性		歩道を通行する自転車の数		歩道を通行する自転車とぶつかりそうになった		自転車との接触に対する不安やストレス		歩道の通行のしやすさ			
	安全	快適	減った	増えた	減った	増えた	減った	増えた	良くなった	悪くなった		
府道大堀塚線	安全	52.4%	40.0%	減った	10.0%	減った	15.0%	減った	15.0%	良くなった	15.0%	
	危険	19.0%	不快	15.0%	増えた	25.0%	増えた	20.0%	増えた	30.0%	悪くなった	30.0%
今池三国ヶ丘線	安全	60.0%	快適	60.0%	減った	40.0%	減った	40.0%	減った	20.0%	良くなった	40.0%
	危険	40.0%	不快	20.0%	増えた	0.0%	増えた	20.0%	増えた	20.0%	悪くなった	0.0%
府道堺大和高田線	安全	59.1%	快適	45.4%	減った	9.1%	減った	26.0%	減った	22.7%	良くなった	13.6%
	危険	18.2%	不快	13.6%	増えた	18.2%	増えた	17.3%	増えた	22.7%	悪くなった	18.2%
堺市駅浅香山線	安全	28.6%	快適	42.9%	減った	12.5%	減った	37.5%	減った	50.0%	良くなった	50.0%
	危険	28.6%	不快	42.9%	増えた	25.0%	増えた	12.5%	増えた	0.0%	悪くなった	0.0%
合計	安全	52.7%	快適	44.4%	減った	12.7%	減った	25.0%	減った	23.7%	良くなった	21.9%
	危険	21.8%	不快	18.5%	増えた	20.0%	増えた	17.9%	増えた	21.8%	悪くなった	18.2%

【調査結果】

- 自転車レーン整備により、全体としては、徒歩・車イス利用者の約5割が「安全」・「快適」と評価し、「危険」・「不快」との評価が約2割となっている。
- 自転車が自転車レーンを通行することにより、「歩道を通行する自転車とぶつかりそうになる」が「減った」、「自転車との接触に対する不安やストレス」が「減った」、「歩道の通行のしやすさ」が「良くなった」と感じている人の割合の方が、全体として若干多いが、大きな差異は見られない。

【感想・意見の分類】（全51件） 回答人数 37人

- 自転車等のルール・マナー及び啓発・教育に関する意見（19件）
- 車道通行について危険がある、または問題がある等の意見（10件）
理由として「接触の危険、幅が狭い」（府道堺大和高田線）・・・6件など
- 歩道通行についての意見（10件）
「自転車の歩道通行が危険等」・・・6件、「歩道の路面状況が悪い等」・・・2件など
- 安全が高まった、走りやすいなどの意見（3件）
- その他意見（9件）

【主な感想・意見】

- 安全が高まった、走りやすいなどの意見
○歩道を自転車が通らないのでよくなりました。（今池三国ヶ丘線）
- 自転車等のルール・マナー及び啓発・教育に関する意見
○自転車レーンを逆方向に走行しているのをよく見る。
- 歩道通行についての意見
○自転車レーンを使用しないで歩道を通行する自転車がいるので安心できない。
- その他意見
○自転車が車道を走るのも、特に高齢の方や子供は危ないです。今後、道路を整備する際は、歩行者・自転車・車の3者分離を徹底して頂ければと思います。